

第19回
高崎演能の会

令和4年7月10日(日)

午後1時30分開演(午後0時30分開場)
高崎芸術劇場 スタジオシアター 能舞台

能敦盛(観世流)
狂言 鍋八撥(和泉流)
葵上(観世流)
蠟燭能



藤波 重彦



野村 萬斎



下平 克宏



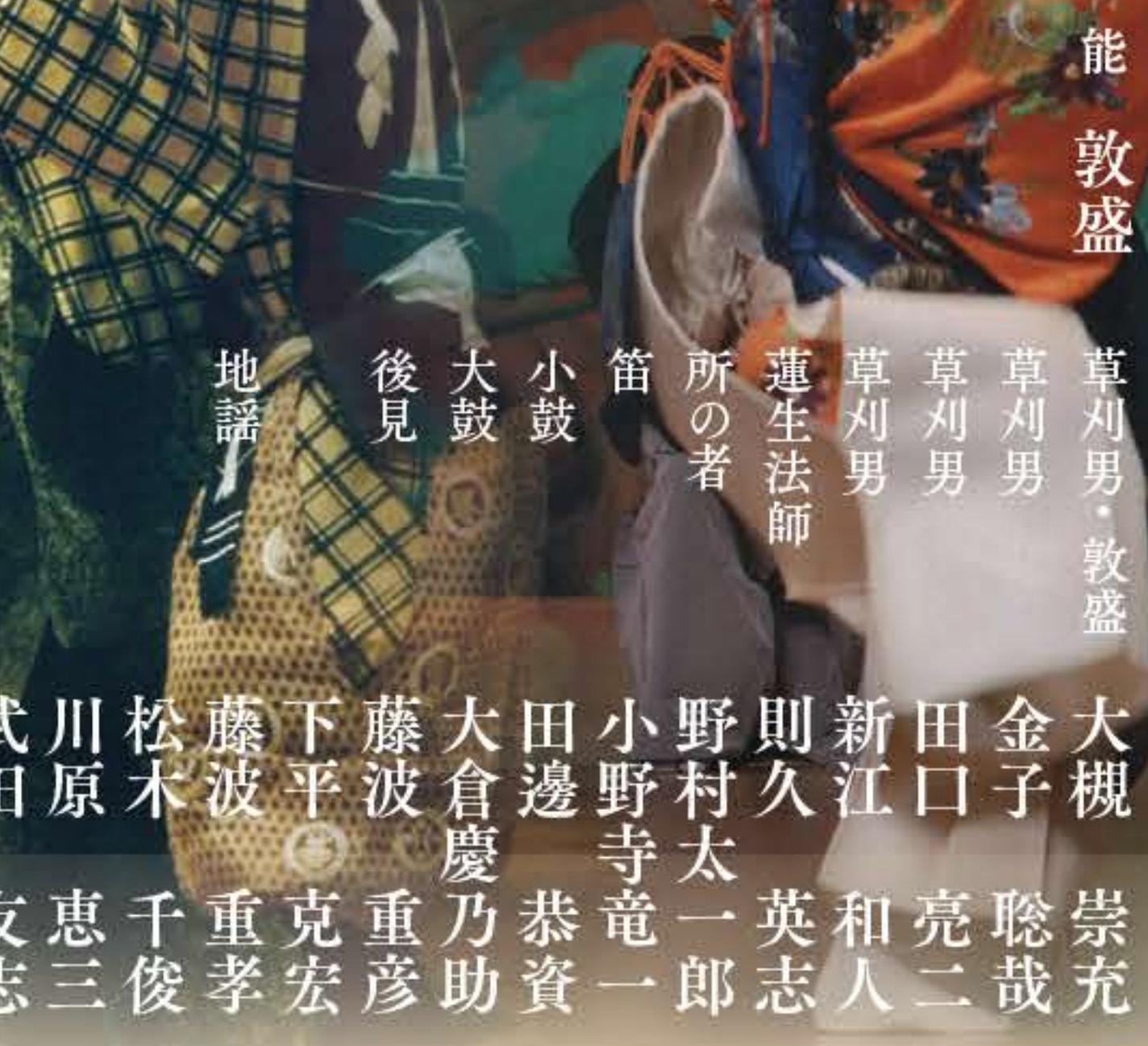
大槻 崇充

高崎芸術劇場

第19回高崎演能の会

令和4年7月10日(日) 午後二時二十分開演

敦盛(あつもり)



狂言
鍋八撥

狂言
鍋八撥

狂言
鍋八撥

蝶燭能
葵上

御息所生靈
大臣の下人

休憩十五分

狂言
鍋八撥

蝶燭能
葵上

御息所生靈
大臣の下人

休憩十五分

狂言
鍋八撥

葵上(あおいのうえ)
蝶燭能

光源氏の正妻・葵上は、物怪に憑かれて病床に伏している。梓巫女が占つと、物怪の正体は六条御息所の生靈であった。

御息所は源氏の愛を失った悲しみと、葵上への嫉妬の恨みを述べ、幽界へ連れ去らうとする。

葵上の様子が益々重篤になつたので、大臣は横川の小聖に祈祷を依頼する。小聖が祈ると、悪鬼となつた御息所が現れ激しく争うが、ついに祈り伏せられ成仏を遂げる。

今回の蝶燭照明が照らし出す冥々とした陰陽は、御息所の想念を明々と描きだしてくれるでしょう。世阿弥の傑作です。

一の谷の合戦で若武者敦盛を討った熊谷直実は、世の無常を感じ出家し蓮生と号し、敦盛の菩提を弔う為、一の谷へと赴く。すると、笛を吹く草刈りの男達が現れ、笛の話をし、実は敦盛の化身であるとほのめかし、姿を消す。やがて敦盛が生前の姿で現れ、平家の栄枯盛衰と、一の谷での壮絶な最期を語り、己の敵の蓮生ではあるが、その回向によって成仏できたので、もはや敵ではないと謝し、極楽浄土で再会しようと語り姿を消すのであった。若武者を主人公にした、世阿弥の名作です。十六歳で討死した敦盛は、笛の名手で、その愛器は青葉の笛と言いました。

高崎演能の会 プレ講座

[第1回]6/22(水)「敦盛」若き貴公子が語る、幽美と壮絶な最期

各13:30~15:30 高崎芸術劇場スタジオシアターにて

事前にEメールまたは郵便はがきでの申込みが必要です。定員になり次第受付を終了いたします。

【申込方法】代表の方の①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)④電話番号⑤受講人数⑥ご希望の回(どちら1回のみの受講もできます)を明記して、Eメール:ticket@takasaki-foundation.or.jp(メール件名は「プレ講座」と入力してください)郵便:〒370-0841 高崎市栄町9-1 高崎芸術劇場「プレ講座」係へ

令和4年 7月10日(日)

午後0時30分開場

午後1時30分開演

(午後4時15分頃終了予定)

会場 高崎芸術劇場 1階 スタジオシアター能舞台

入場料 [全席指定]

S席:10,000円/A席:8,000円/B席:5,000円

チケット発売

Web 5/13(金)10時~

● 高崎芸術劇場メンバーズ限定(登録無料)

高崎芸術劇場



電話 5/17(火)10時~ 窓口 5/18(水)10時~

高崎芸術劇場 チケットセンター 027-321-3900 (10:00~18:00)

ほか高崎市施設プレイガイド

※未就学児の入場はご遠慮ください。※公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換はいたしかねますのでご了承ください。※車椅子席・介助席のご購入は、高崎芸術劇場チケットセンターまでお電話でお申し込みください。



〒370-0841 群馬県高崎市栄町9-1 (JR高崎駅東口から徒歩5分)

*専用駐車場はございません。

イヤホンガイドのご案内

能楽師によるライブ解説をワンコイン(500円)で! 当日会場にてイヤホンガイドの貸し出しを行います。※事前予約なし

主催 高崎芸術劇場

(公益財団法人 高崎財団)

一般社団法人 下平克宏演能の会

(公益財団法人 高崎財団)

2階席

S席 10,000円 A席 8,000円 B席 5,000円



スタジオシアター